

スタントマンによる自転車交通安全教室 挨拶

2020.9.30

長かった残暑もようやく収まり、爽やかな秋の日となりました。今日は、日頃から大変お世話になっている富山北警察署様のお取り計らいにより、プロのスタントマンの皆様による自転車交通安全教室を開催することになりました。本日、お越しいただきました皆様、誠にありがとうございます。

さて、生徒の皆さん、本校は（歴史的に）自転車通学を実施せず徒歩通学のみとしていますが、その理由を正しく理解していますか。それは、「全通学区域のほとんどが半径2km以内であり、最も遠くても片道30分程度の徒歩通学圏内にあること」が主な理由ですが、それだけでなく、通学路の多く、特に学校周辺の道幅が非常に狭く、歩道も整備されていないため、登下校時の自転車の走行が大変危険だからです。そこで、岩中生の大切な生命を最優先に考え、自転車による重大事故（生命の危険）を徹底的に回避するため、学校始まって以来、自転車通学を実施していません。そのお蔭で、本校では、通学時の交通事故はほとんど発生していません。

全国的な統計でも「自転車通学は、徒歩通学と比べて数十倍死亡事故が発生しやすい」こと、そして「自転車の死亡重傷事故のほとんど(96%)は、中1から高1までの生徒である」ことが明らかになっています。つまり、本校の「徒歩通学制」は、実は生徒の皆さんの命を守っているのです。

また、歩くことは一生の健康作り。中高生時代に鍛えた体で、今後80年を生きていかねばなりません。日々足腰を鍛える徒歩通学を「体力作りの貴重な時間」と前向きに捉え、毎日力強く歩いて登校しましょう！

とはいうものの、休日には自転車に乗ることもあるでしょうし、高校生になったら自転車通学を始める人もいるかもしれません。小中学校時代に徒歩通学で守ってきた命を、これからも大切に守り抜くため、今日は事故に遭わない安全な自転車の乗り方を学びましょう。スタントマンの皆様が命がけて教えてくださいます。ご指導、よろしく申し上げます。